

暮らしをささえた道具

郷土資料館収蔵品紹介

69

『竜吐水』

江戸時代から明治時代にかけて使われた小型の手突きポンプで、消火道具の一つです。

使い方は、おけやたらいに水を入れ、その中にこの竜吐水を立てます。柄を引き上げることで水を吸い上げ、押し下げることによって圧力をかけ、細くのびた筒から水を遠くに飛ばしました。

一人で持ち運びがで
き、写真の左のような
木製と、右のような金
属製のものがありまし
た。コンパクトな消火
道具として、狭い場所
で使われたり、個人用
として常備されたりし
ていました。現在の家
庭用消火器のように設置
されていたのではありません。



けれども出てくる水の量は少ないので燃えている火を消すというより、飛んできた火の粉や消火活動を行う人たちに水をかけるくらいしかできませんでした。竜が水を吐くように見えたことからこう呼ばれたといわれています。

竜吐水と呼ばれる消火道具には、ほかに水を入れた大きな箱の上に押し上げポンプを備えたものもありましたが、それは次回に紹介します。

郷土資料館（JAめぐみの坂祝支店3階）の次の開放日は、令和2年4月10日（金）（午後1時～午後3時）です。ぜひご覧ください。

広報文芸

町民俳句文化協会さかほぎなうはふり俳句会

数へ日や手順の狂ふ事あまた
夜べの雨光残して冬木の芽
高き枝柿の実たわわ光る朝
愛犬の残しバンダナ柚子は黄に
早朝や登校する子等息白し
二、三日続く日和や年用意
一日毎色変わりゆく紅葉山
松手入れ狭庭明るく空の青
宙と海ひとつに暮れて十二月
冬満月一切の雲寄せつけず
風に舞ふ落葉おいかげどこまでも
赤と黄の絨毯続く落葉道

岡本 憲子
岡本 憲子
田口 孝和
田口 孝和
長瀬 静子
長瀬 静子
安藤 文子
安藤 文子
兼松 禎子
兼松 禎子
十河 朱里
十河 朱里

毎月
第三火曜日
18:00
～
18:20



坂祝町の旬な情報をまるごとお届け!

さかほぎなう! パーソナリティ: 小栗かおる

次回ゲストは、社会福祉協議会ボランティア団体の皆さんです。お楽しみに!

iPhoneはこちら

Androidはこちら



スマートフォンでもFMららを聴くことができます。FMららアプリの無料ダウンロードはこちら。



おくやみ
丹羽 富子 様 (深萱)
若杉 ひさ子 様 (酒倉)
80歳 98歳

2月のゴミ収集情報

もえるごみ収集日は、月・金曜日です。

※資源物収集日には、収集ボランティア「コスモス」がペットボトルキャップを回収しますので、ご協力ください。

※ごみの出し方については、正しく分別し、決められた日時に、集積所へ出してください。

不燃ごみ等収集日 13日(木)

缶・ビン(食品用・飲料用)を分けて「資源袋」に。金物・ガラスくずを分けて「もえないごみ収集袋」に。袋に入らない規定の大きさまでのごみは「粗大ごみシール」を貼って出してください。

資源物収集日 16日(日)

時間 午前8時から午前10時
場所 町内各自治会公民館
収集物 ペットボトル、食品トレイ、蛍光灯、水銀式体温計、紙パック、廃食用油、乾電池